

五所川原合同庁舎ポンプ設備更新工事 設計図面

図面番号	図 面 名 称	備 考
M -00	図面タイトル・リスト	
M -01	機械設備改修工事特記仕様書(1)	
M -02	機械設備改修工事特記仕様書(2)	
M -03	機械設備改修工事特記仕様書(3)	
M -04	機械設備改修工事特記仕様書(4)	
M -05	工事区分表	
M -06	案内図・配置図	
M -07	機械設備 1階平面図	
M -08	機械設備 機器表・1階詳細平面図[改修後]	
M -09	機械設備 要領図[改修後](参考)	
M -10	機械設備 機器表・1階詳細平面図[撤去]	

藤本電気設計 株式会社

機械設備改修工事 特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所 青森県五所川原市字栄町地内

2. 建物概要

建物名称	構 造	階数			建築基準法による 延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第1の区分	施設の分類	備 考
		地上	地下	塔屋				
五所川原合同庁舎 本館	RC造	3階	-	-	4,385.46㎡	15 項	一般の施設	既存1棟
							or	
							特定の施設	

3. 工事種目（●印の付いたものが対象工事）

建物別及び屋外		工事種別			
工事種目	庁 舎				屋 外
● 空調設備	改修一式				
○ 換気設備					
○ 排煙設備					
○ 自動制御設備					
○ 衛生器具設備					
● 給水設備	改修一式				
○ 排水設備					
○ 給湯設備					
● 消火設備	改修一式				
○ ガス設備					
○ 厨房機器設備					
○ 雨水利用設備					
○ 浄化槽設備					
○					

4. 指定部分 ● 無し ○ 有り 指定部分工期：令和 年 月 日

対象部分（ ）

5. 設備概要（●印の付いたものを適用する。）

方式及び種別	設備概要
空調調和方式	○ダクト方式（○中央 ○各階ユニット） ○ファンコイル・ダクト併用方式 ○パッケージ方式
主要熱源機器	○鋼製ボイラー ○鋼製簡易ボイラー ○小型貫流ボイラー ○簡易貫流ボイラー ●鋼鉄製ボイラー ○鋼鉄製簡易ボイラー ○温風暖房機 ○温水発生機（○真空式 ○無圧式） ○チリングユニット ○空気熱源ヒートポンプユニット ○吸収冷温水機 ○吸収冷温水機ユニット ○パッケージ形空調調和機 ○マルチパッケージ形空調調和機
換気設備	○1種換気 ○2種換気 ○3種換気
排煙設備	○建築基準法 ○消防法
自動制御設備	○電気式 ○電子式 ○デジタル式
給水方式	○水道直結方式 ○水道直結増圧方式 ●高置タンク方式 ○受水タンク＋ポンプ直送方式
排水方式	建物内の汚水と雑排水（○分流式 ○合流式） ポンプ排水 ○有（○汚水 雑排水 ○湧水） ○無 放流先 汚 水（○直放流下水管 ○浄化槽） 雑排水（○直放流下水管 ○浄化槽）
給湯設備	○局所式 ○中央式
消火設備	●屋内消火栓設備 ○スプリンクラー設備 ○泡消火設備 ○粉末消火設備 ○不活性ガス消火設備（○ ） ○連結送水管設備 ○連結散水設備 ○フード等用簡易自動消火装置
ガス設備	○都市ガス（種別 、高位発熱量 MJ／m ³ （N）、低位発熱量 MJ／m ³ （N） 供給圧力 P _a 、一般ガス導管事業者名： ） ○液化石油ガス

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課制定の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和7年版）」（以下、「標準図」という。）による。ただし、改修標準仕様書に記載されていない事項は国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

なお、電気設備工事の特記仕様は（ ）図、建築工事の特記仕様は（ ）図による。

2. 特記仕様

●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は※印の付いたものを適用する。

●印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項目	特記事項
一般共通事項	●1. 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重の算定は次の条件による。 ●風圧力 風速（ V ₀ =34m/s ） 、地表面粗度区分（ Ⅲ ） ○積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表（ 十一 ）

章

一般共通事項

項目

特記事項

●2. 工事期間中
停止させない機器

○3. 再使用品の
特別な清掃等

○4. 再使用品の状態
及び性能・機能確認

●5. 機材の品質等

●6. 機材の承諾図

●7. 環境への配慮

○8. 足場その他

○9. 火気の使用

○10. 施工調査

● 無し ○ 有り（ ）

○

○

（1）本工事に使用する材料・機材等は設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

（2）別表に機材等名が記載された製造業者等は次の①から⑥すべて事項を満たす証明となる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料の提出を省略することができる。

①品質及び性能に関する試験データを整備していること。

②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

③安定的な供給が可能であること。

④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。

別 表 （品質及び性能に該当する材料・機材等）

鋼製簡易ボイラー	鋼製ボイラー	鋼製小型ボイラー
鋼製ボイラー	真空式温水発生機（鋼製・鋼鉄製）	無圧式温水発生機（鋼製・鋼鉄製）
チリングユニット及び空気熱源ヒートポンプユニット	吸収冷温水機	
吸収冷温水機ユニット	遠心冷凍機	冷却塔
ユニット形空調調和機	ファンコイルユニット及びカセット形ファンコイルユニット	
コンパクト形空調調和機	パッケージ形空調調和機	マルチパッケージ形空調調和機
ガスエンジンヒートポンプ式空調調和機	エアフィルター（パネル形、折込み形）	自動巻取形エアフィルター
電気集じん器	全熱交換器（回転形、静止形）	遠心送風機（多翼形送風機）
斜流送風機	軸流送風機	消音ボックス付送風機
横形遠心ポンプ	水中モーターポンプ（汚水用、雑排水用、汚物用）	
立形遠心ポンプ	風量ユニット（定風量・変風量）	自動制御システム
衛生器具ユニット	密閉形隔膜式膨張タンク（空調用、給湯用）	
F R P製パネルタンク	ステンレス鋼板製パネルタンク（溶接組立形）	
ステンレス鋼板製パネルタンク（ボルト組立形）		スプリンクラー消火システム
不活性ガス消火システム	泡消火システム	ハログエン化物消火システム
厨房システム	マンホールふた・弁棚ふた	

機械設備工事機材承諾図様式集（令和7年版）によるほか、監督職員の指示による。

（1）本工事において、国等による環境物品等の調達推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和8年2月閣議決定）」による特定調達品目の判断の基準を満たす環境物品等を選択するよう努める。

ただし、公共工事分野の特定調達品目の機材を使用する場合は、判断の基準を満たすものとする。

（2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④までを満たすものとする。

① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。

④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

※別契約の関係受注者が設置したものは無償で利用できる。

○本工事で設置する。

足場を設ける場合は、「「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（1）手すり据置方式又は（2）手すり先行専用足場方式により行う。

○内部足場 種別 ○A種 ○B種 ○C種 ○D種 ○E種 ○F種 ○G種

○外部足場 種別 ○A種 ○B種 ○C種 ○D種 ○E種 ○F種

防護シート ○設置する ○設置しない

○材料、撤去材等の運搬方法（建築工事編2. 2. 1表2. 2. 1による。）

種別 ○A種 ○B種 ○C種 ○D種 ○E種

○仮設間仕切 種別 ○A種 ○B種 ○C種

○既設部分の養生 ○行う ○行わない

建築物内での火気の使用は原則として行わない。

事前調査 ○本工事 ○別途

調査項目 ○既存資料調査

調査範囲 ○図示 ○

調査方法 ○図示 ○

○はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。

ただし、走査式埋設物調査で埋設物の調査ができない場合は、監督職員との協議による。

章

一般共通事項

項目

特記事項

●11. アスベスト
含有製品及び調査

○12. 埋戻し土及び盛土

●13. 容量等の表示

●14. 電源周波数

●15. 電動機

○16. 耐震施工

●17. 総合試運転調整

●18. 弁等のサイズ

○19. 建物導入部
配管の変異吸収

○20. 絶縁継手取付箇所

○21. 支持及び固定

○22. 支持金物・固定金具

イ）次の撤去部位は石綿含有製品が使用されており、原則調査不要とする。
●保温材（石綿入りけいそう土保温材1号） ○たわみ継手
○保温外装材（アスベストセメント） ○保温外装材（特殊石綿板）
○煙道用パッキン（煙道伸縮部：石綿ロープ）
○煙道用パッキン（壁貫通部：アスベスト）
○ダクトパッキン（石綿テープ） ●配管接合材（石綿ジョイントシート）

ロ）次の撤去資機材等についてはアスベスト含有製品調査を行い、監督職員に報告する。
調査範囲（○熱源機器 ○ ）
調査方法（○型番確認の上製造者ヒアリング ○ ）

ハ）撤去資機材等については定性分析調査を行うものとし、採取部位及びサンプル数は監督職員と協議する。なお調査にかかる費用は、○本工事 ○別途 とする。

イ）管周囲の保護 ※山砂の類（ただしコンクリート管の周囲は根切り土の良質土）

ロ）埋戻し土及び盛土 ※根切り土の中の良い良質土 ○山砂の類

イ）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。

ロ）電動機出力、燃料消費量、圧力損失は原則として表示された数値以下とする。
50Hzとする。

換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は製造者規格による標準品としてもよい。

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針・2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）により、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。

ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合はこの限りではない。

（1）設計用水平地震力
機器の重量[kN]（水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

	機 器 種 別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは地階を除く2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。

・水槽類にはオイルタンクを含む。

・重要機器は次による。
[名称： 、記号：] [名称： 、記号：]
[名称： 、記号：] [名称： 、記号：]
[名称： 、記号：] [名称： 、記号：]
[名称： 、記号：] [名称： 、記号：]
（1）地域係数 ※1.0 ○0.9
（2）設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とする。

（3）機器類および支持架台類固定用のワッシャーの選定は座屈防止を十分検討する。

各機器の個別運転調整後に次の総合調整を行い、測定報告書を提出する。

○風量調整 ●水量調整 ○室内外空気の温湿度の測定

○室内気流及びびんあいの測定 ○騒音測定

○飲料水の水質の測定：費用（○本工事 ○別途）

○雑用水の水質の測定：費用（○本工事 ○別途）

特記されていない弁等のサイズは機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。

図示の箇所に施工する。施工方法は「標準図」建築物導入部の変位吸収配

管要領（一）、（二）による。（○（a） ○（b） ○（c） ）

取り付け箇所及び仕様は図示による。

標準仕様書記載以外の天井吊形、カセット形、天井隠べい形の機器の支持は吊り用ボルトで行い、振れ止めを施したものとする。

イ）ポンプ、屋外機器及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（SUS304）とする。

ロ）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。

ハ）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。

二）冷媒管の吊り用支持受け材として保護プレートを、断熱材被覆銅管と吊り金物との間に設け、自重による断熱材の食込みを防止する。

藤 本 電 気 設 計 株 式 会 社

五所川原合同庁舎ポンプ設備更新工事

機械設備改修工事特記仕様書(1)

TEL 017(752)8075 FAX 017(752)8095

大黒 高橋

2025. 9

M ー 01

章

一般共通事項

項目

特記事項

○23. 地中埋設標等

(1) 地中埋設標(図示の位置) ※要 ○不要
(2) 埋設表示テープ(排水管を除く) ※要 ○不要

○24. 技能士の適用

○配管施工(配管工事) ○建築板金施工(ダクト製作及び取付け)
○冷凍空調調和機器施工(チリングユニット、パッケージ形空調和機の据付け及び整備)
○熱絶縁施工(保温工事)

○25. 配 管

(1) ステンレス鋼管の接合は下記による。
※呼び径60Su以下(※ブレス式 ※拡管式)
(2) 溶接部の非破壊検査 ※不要 ○要(
(3) 呼び径50以下の鋼管のねじ加工は原則として転造ねじ加工とする。
ただし、樹脂ライニング鋼管(ポリ粉体鋼管を除く)のねじ加工は切削ねじ加工とする。
(4) 排水管の90°曲管は原則として大曲管とする。

●26. あと施工アンカー

●金属拡張系アンカー(※本体打込式)
●接着系アンカー(接着剤は有機系とする)
ただし、配管・ダクト・機器等の天井つり下げ用アンカーには、接着系アンカーを使用しない。
イ)性能確認試験 ※行わない ○行う
ロ)施工後確認試験 ※行わない ○行う

○27. 既設インサート他

既設インサート及びアンカーボルト ※使用しない ○使用する

○28. 既設配管の試験

給 水 ※行わない ○行う 排 水 ※行わない ○行う
冷温水 ※行わない ○行う 冷却水 ※行わない ○行う
試験方法
給 水 ○ ○ 排 水 ○ ○
冷温水 ○ ○ 冷却水 ○ ○

●29. 他工事との工事区分

●30. 保温外装

○31. 塗 装

(1) ○保温を行わない居室・便所・湯沸室及び屋外の露出配管(鋼管)、ダクトには塗装を行う。
○図示による。
(2) ○露出金属電線管は次の部分の塗装を行う。
○屋外架空部 ○機械室 ○屋内一般

○32. 電線類

電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。

○33. 案内板等

機器等の取扱い方法及び系統を書いた図面呼称A1の図面(枚)をプラスチックケースに入れ、監督職員の指示する場所に設置する。屋外に設置する危険物表示版等の材質はアルミニウム製とする。

○34. 冷媒(フロン系)回収

冷凍機等の撤去に伴う冷媒回収方法は、改修標準仕様書第3編2.4.3により適切に行うこと。
ただし、家電リサイクル対象機器は除く。
冷媒回収の費用は(○本工事 ○別途)とする。
家電リサイクル対象機器の冷媒回収方法はポンプダウン方式とする。
リサイクル料金は(○本工事 ○別途)とする。
(1) 熱源機器には、個々に地震感知器を付属する。
(2) 圧力計、連成計、水高計及び電流計等の計器類には、正常値を示す赤指針を設ける。

●35. 計器類

(1) 配管は下記による。

○36. 土工事

(1) 配管は下記による。

○37. 貫通部の処理

標準仕様書によるほか、冷温水管及び蒸気配管の貫通部には、鞘管を入れ隙間を断熱材等で埋める。

○38. はつり

既存コンクリート部の床・壁の配管貫通部等の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

○39. 危険物設置時の屋外表示板

○樹脂製 ○アルミ製

章

空気調和設備

項目

特記事項

○1. 設計温湿度

○2. ばい煙濃度計

○3. 銅板製煙道

○4. ダクト

○5. 風量測定口

○6. ダンパー

●7. 弁 類

○8. 鋼管用伸縮管継手

○9. 温度計

○10. 瞬間流量計

○11. チャンバー

○12. 保 温

○13. 塗 装

○14. 消音内貼り

○15. 緊急遮断弁

○16. 注油口及び指示ボックス

○17. カセット形ファンコイルユニット(風量分配ダクト)

○18. 温水パネルヒーター

○19. 電気パネルヒーター

特記事項

外気条件 屋内(調整目標)
一般系統
温度(DB)湿度(RH)温度(DB)湿度(RH)温度(DB)湿度(RH)
夏季 9時 30.2℃ 64.5% 12時 32.1℃ 58.3% 14時 32.0℃ 60.0% 16時 31.3℃ 62.3% 28℃ 45% ℃ %
冬季 -5.5℃ 83.7% 19℃ 40% ℃ %
熱源機器の水溫条件
暖房用温水ボイラー
送水溫度 70.0℃ ℃ ℃ ℃ ℃
出入口溫度差 15.0℃ ℃ ℃ ℃ ℃
取付箇所は図示による。
板厚は煙道径300mm以下は3.2mm、300mmを超えるものは4.5mmとする。
煙道を設置する場合、ばいじん測定口(口径100φ、タッピング)を設ける。
(煙道径400mmを超えるものには、掃除口に蝶番を取り付ける。)
既設 ※低圧ダクト ○高压ダクト1
改設 ※低圧ダクト (長方形ダクトは ※コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分)○アングルフランジ工法)
○アングルフランジ工法)
○高压1ダクト(適用範囲は図面による)
取付箇所は図示による。取付面は監督職員の手指示による。
(1) 防煙ダンパー 復帰方式 遠隔式(定格入力DC24V、0.7A以下とする。)
(2) ヒストンダンパー 復帰方式 遠隔式
※5K
呼び径65A以上の弁はバタフライ弁とする。
ステンレス鋼管に取り付ける弁類はステンレス製とする。
冷温水コイル及び蒸気加熱コイル廻り(標準図施37・41)の弁は仕切弁とする。
○ベローズ形 ○スリーブ形
円形指示計とする。
止水コック付とする。(※ 固定形 ○着脱形)
着脱形の流量指示部(○40A用 個、○100A用 個、○250A 個)を付属する。
イ)内貼チャンパー類の寸法表示は、外形寸法とする。
ロ)空調和機に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系統で消音内貼りしたチャンパーには点検口を設ける。
なお大きさは図示による。
ハ)外壁に面するガラリに直接取り付けのチャンパー及びホッパーは雨水滞留のないように施工する。
イ)蒸気通り管の保温は不要(屋内露出は除く)
ロ)屋外露出管(弁、フランジを含む)の保温は、標準仕様書第2編3.1.4表2.3.3E2・
(ハ)とし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。
ハ)還気ダクトの保温 ※不要 ○要(保温の厚さ25mm、範囲は図示による)
二)外気取り入れダクト及びチャンパーボックスの保温 ※要 ○不要
ホ)排気ダクトは外壁開放部より1m程度を保温する。(チャンパーボックス含む)
ヘ)冷媒管の保温外装
居室露出部 ※保温化粧ケース(樹脂製)
屋 外 ※保温化粧ケース(樹脂製)
○保温化粧ケース(※亜鉛めっき鋼板製 ○SUS製)
ト)建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁(空気抜き弁を含む)までとし、仕様は標準仕様書の冷温水管の項による。
チ)高压蒸気管及びヘッダーの保温厚さ: mm
リ)温水平房のパネルヒーターへの屋内露出管
○施工する ※施工しない
ヌ)蒸気管の保温
暖房する室の暖房用蒸気立て管(主管を除く)及び分枝管:
○施工する ※施工しない
次の部位に使用するダクトには塗装を行う。
○制氣口ボックス内面(居室・便所の見えかき部)
○図示による
吹出口に接続するチャンパーの消音内貼りは図示による。
オイルサービスタンクに設置する緊急遮断弁は、停電時に閉じるものとする。
○単独形 ○共用形(○油量指示計 ○ローリーアース)
※ 亜鉛鉄板
○自己消火性のポリスチレンフォーム製
○
※鋼板製 ○アルミ製 ○
(1)ケーシングはステンレス製とする。
(2)便所に設置する場合は、いたずら防止カバー付とする。

章

換気設備

項目

特記事項

○1. 準拠事項

[空気調和設備の当該事項に準ずる。]
○ダクト○風量測定口○ダンパー○チャンパー○塗装
○既設 ○改設(○別途 ○本工事)

○2. 開放形

湯沸器用排気フード

○3. 厨房用排気ダクト

アングルフランジ工法とする。
既設 ○亜鉛鉄板
改設 ○亜鉛鉄板
○ステンレス鋼板(SUS304)
(板厚は衛生器具表空調1の厨房排気ダクトの板厚表による)

○4. 厨房用排気フード

既設 材質(天幕とも)
○ステンレス鋼板(SUS304) ○
フード周囲の天幕(フード面から天井面まで)
○有 ○無
改設 材質(天幕とも)
○ステンレス鋼板(SUS304) ○
フード周囲の天幕(フード面から天井面まで)
○取り付け ○取り付けない
フードコック
○取り付け ○取り付けない
イ)厨房系統、浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統のダクトのシールは「標準図」シールの施工例(一)、(二)のNシール+Aシール+Bシールとする。
ロ)水抜き管 ○要 ○不要
全熱交換器(空調換気扇)の外気取り入れダクト(OA)、給気ダクト(SA)及び排気ダクト(EA)は全て保温する。
換気扇類は低騒音形以上とし、有圧換気扇は保護ガード付とする。
外壁に設置するベントキャップ、ウェザーカバー等には、給気用に防虫網、排気用に防鼠網を取り付ける。

○5. 多湿箇所の排気ダクト

○6. 保 温

○7. 換気扇類

○8. 給排気口

○1. ダクト

既設 ○亜鉛鉄板 ○普通鋼板(厚1.6mm)
改設 ○亜鉛鉄板 ○普通鋼板(厚1.6mm)

○2. 排煙口の形式

既設 ○パネル形 (○天井取付 ○壁取付)
○スリット形(○天井取付 ○壁取付)
○ダンパー形(○天井内取付 ○)
改設 ○パネル形 (○天井取付 ○壁取付)
○スリット形(○天井取付 ○壁取付)
○ダンパー形(○天井内取付 ○)

○3. 排煙口の形式

既設 ○電気式 (遠隔操作 ○有 ○無)
改設 ○電気式 (遠隔操作 ○要 ○不要)
排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による耐熱・耐火ケーブルとする。

○4. 排煙風量測定方法

建築設備定期検査業務基準書2016年版
(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準じる。

○1. システム構成 その他

別図による。

○2. 計装用配線

電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。
屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。
天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。
開閉状態の遠方表示用接点を ○設ける ○設けない。
MPa

○3. 電動弁

○4. 弁耐压

○5. その他

(1)室内温湿度検出器等を2個以上併設する場合は、サーモケースを使用する。
(2)電動機用電流計は延長目盛電流計とし、赤指針付きとする。

○1. 衛生器具ユニット

別図による。

○2. 身障者用洗浄弁

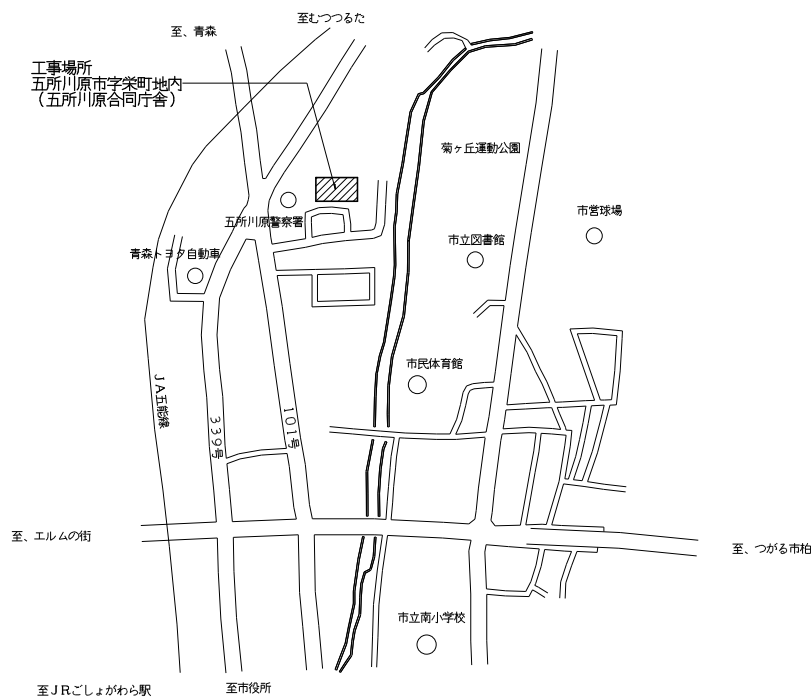
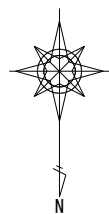
※センサー式 ○タッチスイッチ式 ○くづべら式押しボタン

○3. 大便器用便座

※暖房便座(○脱臭機能付 ○擬音装置付)○普通便座

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
給水設備	○1. 量水器	既設 ○親メーター（※貸与品 ○買取り） （○現地表示式（直読式） ○遠隔表示式（○電文式 ○パルス式）） ○子メーター（○貸与品 ※買取り） （○現地表示式（直読式） ○遠隔表示式（○電文式 ○パルス式）） 改設 ○親メーター（※貸与品 ○買取り） （○現地表示式（直読式） ○遠隔表示式（○電文式 ○パルス式）） ○子メーター（○貸与品 ※買取り） （○現地表示式（直読式） ○遠隔表示式（○電文式 ○パルス式））	消火設備	○1. 屋内消火栓種別	既設 ○易操作性1号消火栓 ○2号消火栓 改設 ○易操作性1号消火栓 ○2号消火栓 ○広範囲型2号消火栓 ※10K 外面被覆鋼管の呼び径100A以下はねじ接続とする。 イ）充水タンクの保温 既設 ○有 ○無 改設 ○要 ○不要 なお充水タンクの保温は標準仕様書 第2編3. 1. 5 表2. 3. 5 鋼板製タンクの項による。 ロ）消火器管の保温 既設 ●有 ○無 改設 ●要 ○不要 なお消火器管の保温は標準仕様書 第2編 3. 1. 5 表2. 3. 5 給水管の項による。 ハ）屋外露出管については給水管に準ずる。 ●ステンレス製 ○鋼板製 （1）連結送水管に取付ける弁は16Kとする。 （2）その他の弁：※JIS10K ○JIS20K	浄化槽設備	（8）放流側 イ）浄化槽本体よりの自然放流可能管底 設計GLー m ロ）浄化槽本体よりの自然放流方式（必要な場合はポンプアップ方式とする） （9）排気管及び排気かさ 構造上不要な場合は設けない。 （10）ポンプ （11）制御盤 ○製造者標準品 ○標準仕様書による （○漏電、過負荷、満水警報等の一括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける） （12）マンホール ○製造者標準品安全荷重（○5 ○15 ○50kN 以上とする） ○「標準図」マンホールふた（OMHB OMHA OMHD） （13）装置耐荷重 耐荷重はマンホール安全荷重による。 （14）土工事 イ）基礎杭 ○要（○本工事 ○別途） ○不要 ロ）基礎コンクリート ○要（○本工事 ○別途） ○不要 ハ）根切り ○本工事 ○別途 ニ）埋戻し ○本工事 ○別途 ホ）躯体（現場施工形の場合） ○本工事 ○別途 ヘ）山留め ○要（○本工事 ○別途） ○不要 ト）水替え（自然水位GLー m） ○要（○本工事 ○別途） ○不要 チ）残土処分 ○構外搬出 ○敷き均し （15）消毒剤 30日分を納入する。 （16）水質表示等の提出 一定期間定常状態で使用後、放流水質等を記入した測定表を提出する。 （17）フローシート 合成樹脂製パネル（厚さ5mm以上、文字は彫り込み）を取り付ける。 （18）消泡装置 ノズル式又は消泡剤式とする。	
	○2. 量水器柵	既設 親メーター用 ○水道事業者指定品 ○「標準図」量水器柵 子メーター用 ○水道事業者指定品 ○「標準図」量水器柵 改設 親メーター用 ○水道事業者指定品 ○「標準図」量水器柵 子メーター用 ○水道事業者指定品 ○「標準図」量水器柵		○5. 屋外消火栓ボックス				
	●3. 弁 類	イ）水道直結部分 ※10K ロ）その他の部分 ※5K ハ）呼び径65A以上の弁はバタフライ弁とする。 ニ）ステンレス鋼管に取付ける弁類はステンレス製とする。 ※化粧ケーシング（※アルミニウム合金製 ○合成樹脂製） イ）屋内（○一般水栓 ○耐寒水栓） 屋外（○耐寒水栓 ○一般水栓） ロ）湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。 ハ）耐寒水栓はJWWAの認証品とする。 イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3. 1. 4表2. 3. 5・e2・（ハ）とし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器柵内の保温 ※行う ○行わない （1）自動交互並列運転とする。 （2）24時間強制ローテーション機能：※付加する ○付加しない		○6. その他				
	○4. 不凍水栓柱			ガス設備	○1. 親メーター			○実測式 ○パルス式 ○貸与品
	○5. 給水栓	イ）屋内（○一般水栓 ○耐寒水栓） 屋外（○耐寒水栓 ○一般水栓） ロ）湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。 ハ）耐寒水栓はJWWAの認証品とする。 イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3. 1. 4表2. 3. 5・e2・（ハ）とし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器柵内の保温 ※行う ○行わない （1）自動交互並列運転とする。 （2）24時間強制ローテーション機能：※付加する ○付加しない			○2. 子メーター			○実測式 ○パルス式 ○買取り
	●6. 保 温	イ）屋内（○一般水栓 ○耐寒水栓） 屋外（○耐寒水栓 ○一般水栓） ロ）湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。 ハ）耐寒水栓はJWWAの認証品とする。 イ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第2編3. 1. 4表2. 3. 5・e2・（ハ）とし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ）量水器柵内の保温 ※行う ○行わない （1）自動交互並列運転とする。 （2）24時間強制ローテーション機能：※付加する ○付加しない			○3. ガスボンベ			貸与品（○50kg 本） イ）集合装置 ○「標準図」液化石油ガス容器廻り配管要領による 本立て ロ）転倒防止等 ○「標準図」液化石油ガス容器転倒防止施工要領 （○（a） ○（b）） ○容器固定具をGL+300に追加設置する。 ○本工事（図示の箇所に）取り付ける（○分離形 ○一体形） ○別工事 外部出力端子 ○有 ○無 イ）一般敷地内 （ m以上） ロ）敷地内車両通行部分（ m以上） ※取付けない ○取付ける（ガス漏れ警報機と連動して作動するものとし、系統は図示による）
	○7. 小形給水ポンプユニット	（1）FRP製タンクのタンク天板（点検用蓋を含む） ※複合板 ○複合板としない （2）タンク接続用配管のフレキシブル継手は合成ゴム製とし、水槽用鋼製架台は溶融亜鉛めっき仕上げとする。 （3）吐水配管（受水槽）の給水用緊急遮断弁 ※設けない ○設ける （1）SUS製とし、鍵付とする。			○4. ガス漏れ警報器			○本工事（図示の箇所に）取り付ける（○分離形 ○一体形） ○別工事 外部出力端子 ○有 ○無 イ）一般敷地内 （ m以上） ロ）敷地内車両通行部分（ m以上） ※取付けない ○取付ける（ガス漏れ警報機と連動して作動するものとし、系統は図示による）
	○8. 水槽	（1）FRP製タンクのタンク天板（点検用蓋を含む） ※複合板 ○複合板としない （2）タンク接続用配管のフレキシブル継手は合成ゴム製とし、水槽用鋼製架台は溶融亜鉛めっき仕上げとする。 （3）吐水配管（受水槽）の給水用緊急遮断弁 ※設けない ○設ける （1）SUS製とし、鍵付とする。		○5. 埋設深さ	イ）一般敷地内 （ m以上） ロ）敷地内車両通行部分（ m以上） ※取付けない ○取付ける（ガス漏れ警報機と連動して作動するものとし、系統は図示による）			
	○9. 壁埋込形散水栓ボックス	（1）SUS製とし、鍵付とする。		○6. 緊急遮断弁	○取付ける（ガス漏れ警報機と連動して作動するものとし、系統は図示による）			
	○10. 引込納付金等	○要（○本工事 ※別途） ○不要 給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。		厨房機器設備	○1. 熱調理器の熱源			既設 ○ガス ○電気 改設 ○ガス ○電気 イ）仕様・性能等は図示による。機器の寸法は概略寸法とする。 ロ）厨房機器据付け要領は「標準図」厨房機器据付け要領による。 ※ドライシステム ○ウェットシステム ○セミドライシステム 機器付属の制御盤は、製造者規格品とする。 JISB2011：2003又はJV同等性能品 ○5K ※10K
○11. その他		○2. 厨房機器類						
排水設備	○1. 満水試験継手	図示の位置に取り付ける。	雨水利用設備	○3. 厨房システム				
	○2. 台所流し等の排水管	台所流し等の床上露出部分の配管はビニル管（RF－VP）でもよい。 ※樹脂製柵（小口径柵） ○コンクリート製柵： ○国土交通省仕様柵 ○頂部補強を施した市販重柵 ○日本下水道協会規格柵		○4. 付属制御盤				
	○3. インバート柵	○樹脂製柵 ※コンクリート製柵： ○国土交通省仕様柵 ○頂部補強を施した市販重柵 ○日本下水道協会規格柵		○5. 付属品（弁類）				
	○4. ため柵	○樹脂製柵 ※コンクリート製柵： ○国土交通省仕様柵 ○頂部補強を施した市販重柵 ○日本下水道協会規格柵		○1. システム構成その他	別図による。			
	○5. 樹脂製柵	樹脂製柵（小口径柵）は、プラスチック・マスマンホール協会及び日本下水道協会規格に準ずる。		○2. 量水器	○パルス式 ○直読式 図面に特記なき場合は、JIS又はJV5Kとする。			
	○6. 雨水柵	雨排水用ため柵は、配管エルボによるトラップ柵とする。 （1）工場製作品で実用量が1.0m ³ 以下のもの ※ステンレス鋼板製 ○FRP製 （2）設置箇所は図示による。 次のものは間接排水とする。 ○ ○		○3. 弁 類				
	○7. グリース阻集器	（1）工場製作品で実用量が1.0m ³ 以下のもの ※ステンレス鋼板製 ○FRP製 （2）設置箇所は図示による。 次のものは間接排水とする。 ○ ○		浄化槽設備	○1. 特記事項	※県が別に定める仕様書による。 ○下記による （1）処理能力 対象人員 人 BOD濃度 mg/L BOD除去率 %以上 （2）流入負荷 汚水量 m ³ /日 BOD濃度 mg/L （3）処理方式 ○小規模合併処理 （告示区分第1の処理方式及びその他同等の能力を有するもの又は建築基準法施行令第35条1項の大丘認定） ○合併処理（告示区分第2、第3、第6の処理方式） （4）主要構造 ○ユニット形（FRP製） ○現場施工形 設置スペース 約 L× W （5）総電気容量 相× V× kW （6）ばっ気槽用送風機 イ）屋外に設置する送風機はカバー付とし、コンクリート基礎上に設置する。 ロ）送風機にはケーブル（ビニルキャプタイヤケーブル）を約 m付属する。 ハ）送風機を2基設置する場合タイマーによる自動交互運転とする。 （7）流入側 イ）流入管底 設計GLー m ロ）浄化槽本体への自然流下方式（必要な場合はポンプアップ方式とする）		
	○8. 間接排水	次のものは間接排水とする。 ○ ○						
	○9. 試験	（1）排水管は満水試験を行い、衛生器具等の取付け完了後に通水試験を行う。 煙試験：※行わない ○行う						
	○10. 放流納付金等	○要 （○本工事 ※別途） ○不要						
○11. その他	別途、工場製作の流しのトラップは別途工事とするが、接続は配管（硬質塩化ビニル管でもよい）とし、本工事とする。							
給湯設備	○1. 弁 類	給水設備の当該事項による。	給湯設備	○2. 保 温	湯沸器の給排気筒（二重管）の隠れ部保温を行う。 （保温の種別は標準仕様書第2編3. 1. 5 表2. 3. 5 h・（イ）・取とする）			
	○2. 保 温	湯沸器の給排気筒（二重管）の隠れ部保温を行う。 （保温の種別は標準仕様書第2編3. 1. 5 表2. 3. 5 h・（イ）・取とする）		○3. 貯湯槽	ステンレス鋼板製 ○SUS304 ○SUS304L ○SUS316 ○SUS316L ○SUS444			
	○3. 貯湯槽	ステンレス鋼板製 ○SUS304 ○SUS304L ○SUS316 ○SUS316L ○SUS444		○4. 貯湯式電気温水器	（1）週間タイマー： ※取付ける ○取付けない （2）制御盤の節電機能：○組み込む ○組み込まない 逆止弁機能：※有り ○無し ※シングルレバー式 ○サーモスタット式 ○2バルブ式			
	○4. 貯湯式電気温水器	（1）週間タイマー： ※取付ける ○取付けない （2）制御盤の節電機能：○組み込む ○組み込まない 逆止弁機能：※有り ○無し ※シングルレバー式 ○サーモスタット式 ○2バルブ式		○5. 湯水混合栓				
	○5. 湯水混合栓							

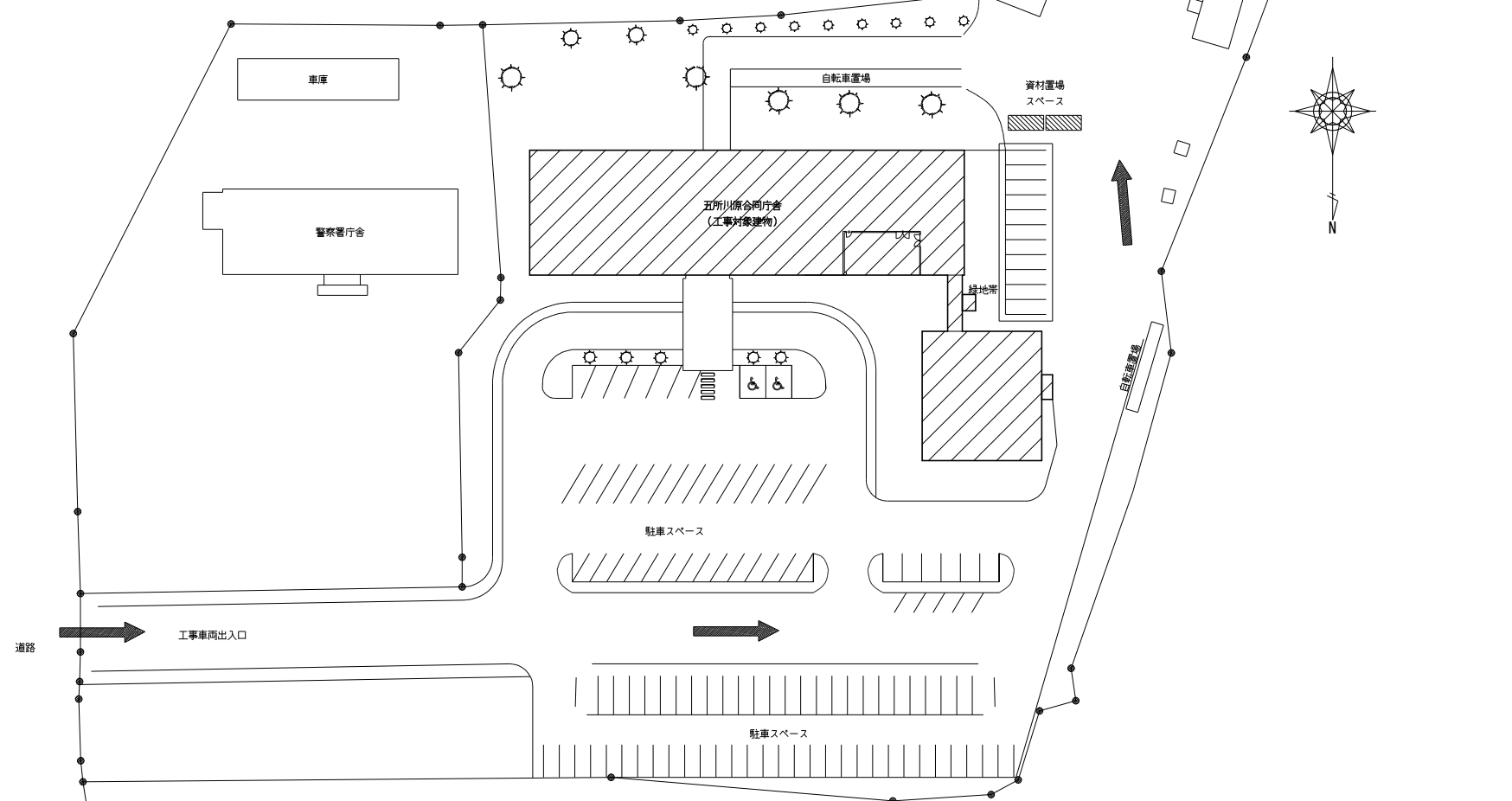
施 工 要 領	章	項目	特記事項										
			石綿含有設備資材撤去リスト（記載例）										
			種 類	寸 法	箇所	備 考 （ダクト板厚）							
			ダクトフランジ部										
		配管フランジ部	80A	9									
			65A	2									
			20A	6									
		配管エルボ部	80A	4									
			50A	5									
			20A	1									
		配管チーズ部	80A	2									
			65A	1									
		※ダクト及び配管フランジ部、配管エルボ部の撤去に先立ち、フランジ部は1箇所につき2箇所、エルボ部は1箇所につき3箇所切断する。											
配 管 材 料	適用	配管種別	新設配管材料		既設配管材料（改修）	配 管 材 料	適用	配管種別	新設配管材料		既設配管材料（改修）		
	●	冷温水管	※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○				○	雑排水管	※ 耐火二層管 （○天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中 ○ ） ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） （※最下階の床下・ピット内 ○ ） ○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 （※露出配管 ○ ） ○ 配管用炭素鋼鋼管（白） ※ リサイクルポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） （※最下階の床下・ピット内 ○ ） ○				
	○	膨脹管	※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○					○	排水通気管	※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ○ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ○			
	○	空気抜き管	※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○					○	屋外排水管	※ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU） ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（※ VU ○ VP） ○ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（REP-VU） ○			
	○	冷却水管	※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○					○	ガス管	※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ ポリエチレン被覆鋼管（PLS）（地中配管） ○ ガス用ポリエチレン管（地中配管） ○			
	○	蒸気給気管	※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ○					○	液化石油ガス管	※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ ポリエチレン被覆鋼管（PLS）（地中配管） ○ ガス用ポリエチレン管（地中配管） ○			
	○	蒸気還管	※ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370（黒管Sch40）） ○					○					
	●	油管	※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ※ （地中配管）ポリエチレン被覆鋼管 ○										
	○	油通気管	※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ※ （地中配管）ポリエチレン被覆鋼管 ○										
	○	ブライン管	※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ○										
	○	冷媒管	※ 冷媒用断熱材被覆鋼管 ○										
	○	空調用排水管	※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ○										
	●	給水管	※ 水道用ポリエチレン紛体ライニング鋼管（●PB ○PD） ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 （OVB OVD） ○ ステンレス鋼管 ※ （屋外地中配管）水道用ポリエチレン二層管 ○ （屋外地中配管）水道配水用ポリエチレン管 ○										
	○	給湯管	※ ステンレス鋼管 ○										
	●	消火栓管	※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ※ （地中配管）外面被覆鋼管（VS） ○										
	○	連結送水管	※ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370（白Sch40）） ※ （地中配管）外面被覆鋼管（VS） ○										
	○	汚水排水管	※ 耐火二層管 （○天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中 ○ ） ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） （※最下階の床下・ピット内 ○ ） ○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 （※露出配管 ○ ） ※ リサイクルポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） （※最下階の床下・ピット内 ○ ） ○										
	<div>藤 本 電 気 設 計 株 式 会 社</div> <div>青森市桂木4丁目3番地の10 TEL 017(752)8075 FAX 017(752)8095</div> <div>建設設備士 藤本 裕二</div> <div>五所川原合同庁舎ポンプ設備更新工事</div> <div>機械設備改修工事特記仕様書（4）</div> <div>SCALE A1- - A3- - DATE 2025. 9</div> <div>大縮 実縮</div> <div>M - 04</div>												



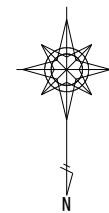
案内図 S=N. S

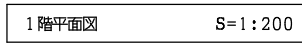
工事概要

- ・温水ポンプ（北系統）及び周辺配管の更新を行う。
- ・温水ポンプ（南系統）及び周辺配管の更新を行う。
- ・温水ポンプ（空調機系統）及び周辺配管の更新を行う。
- ・オイルギアポンプ（暖房用）2台及び周辺配管の更新を行う。
- ・オイルギアポンプ（発電機用）1台及び周辺配管の更新を行う。
- ・消火栓ポンプ及び周辺配管の更新を行う。水量を600L/min→300L/minに変更する。
消火栓ポンプ更新時には、屋内消火栓前に仮設消火器を設置する。



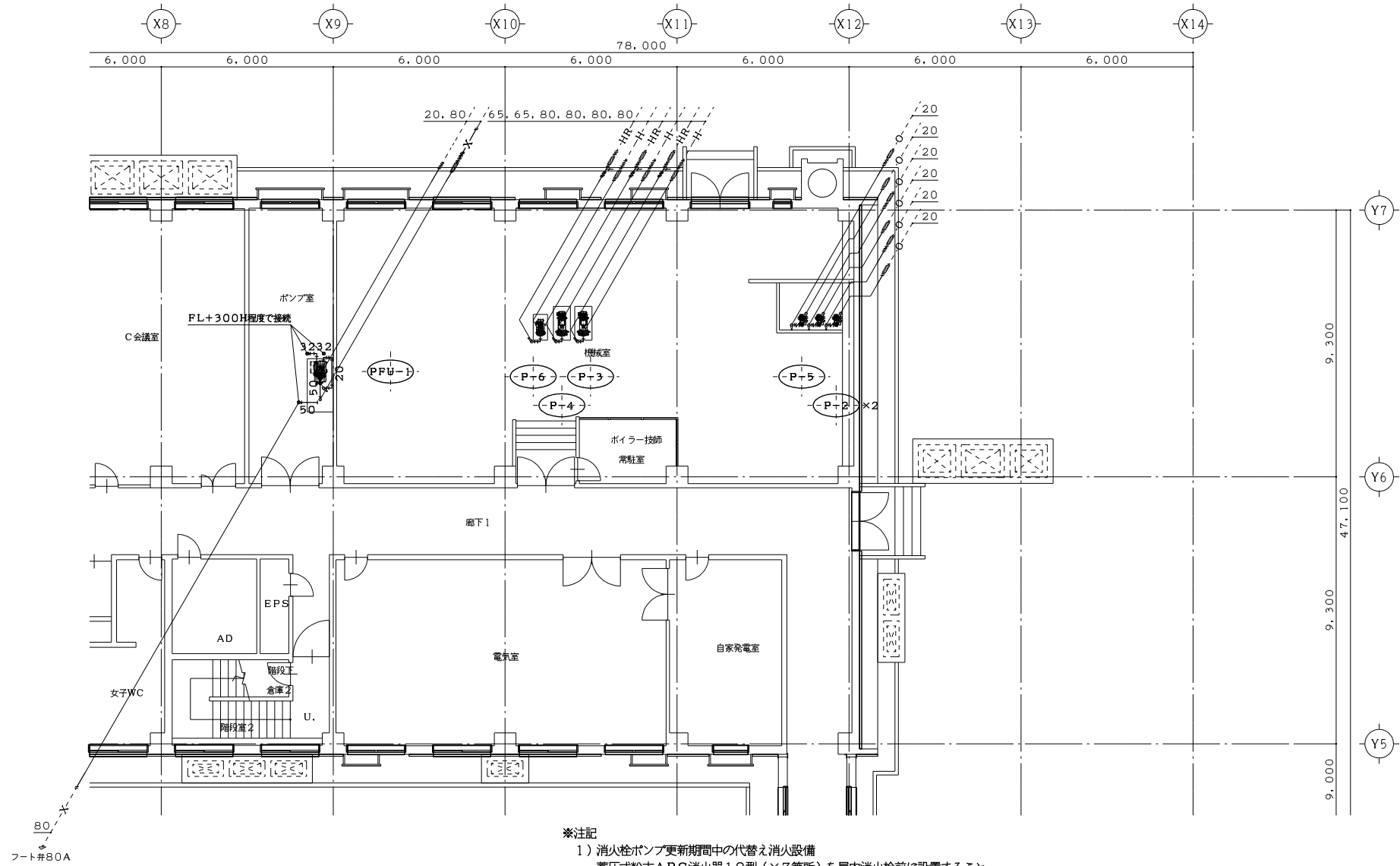
配置図 S=1:500





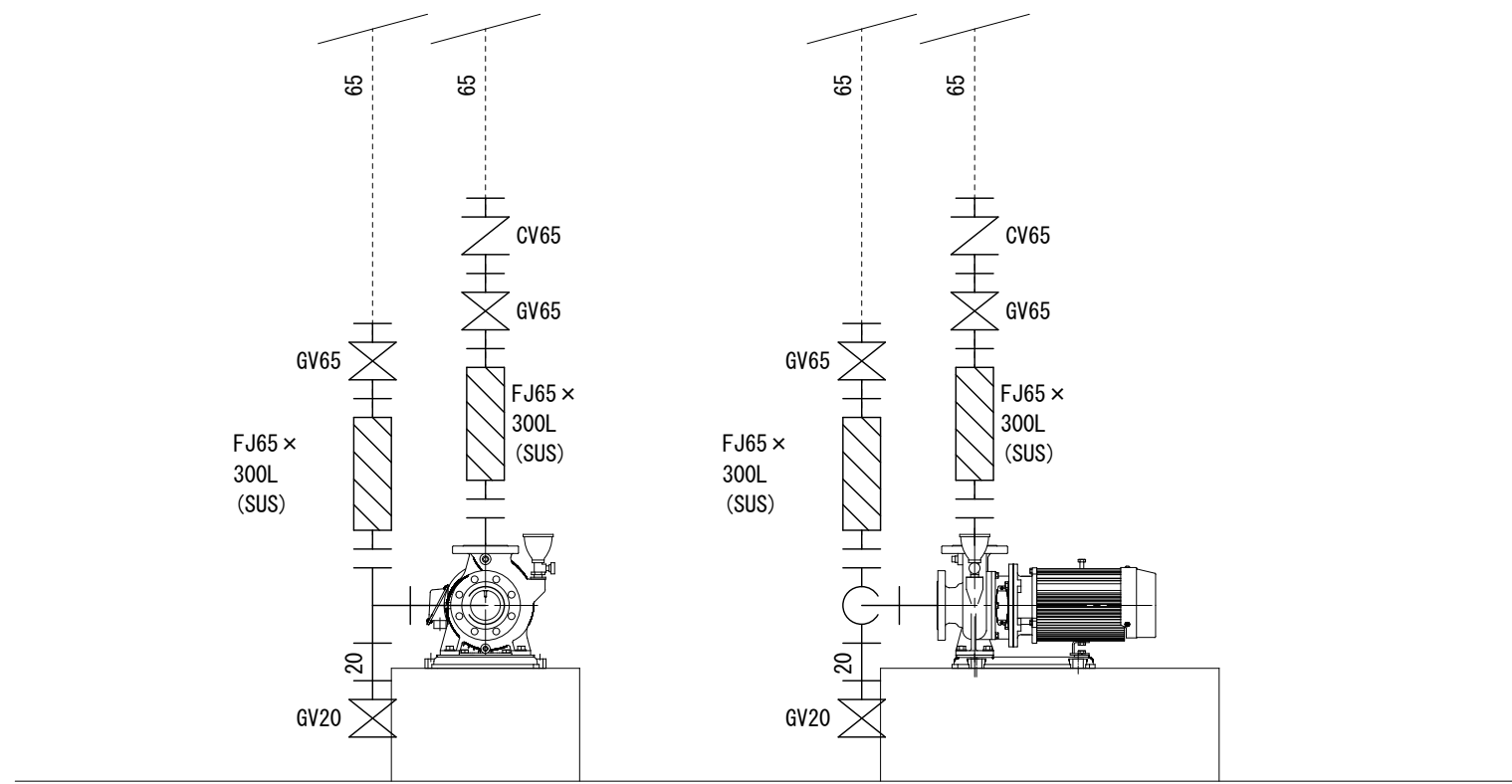
機器表 [改修後]

記号	機器名称	設置場所	機器仕様	数	電気特性			備考
					φ	V	kW	
P-2	ギアポンプ（暖房用）	1F機械室	床置型（歯車，電動機直結形） 20φ× 20L/min× 3kg/cm2，基礎：既設再使用，他付属品共	2	3	200	0.4	電源繋ぎ変え：本工事に含む
P-3	温水ポンプ（北系統）	1F機械室	床置型（片吸込渦巻） 80φ× 530L/min× 22m，基礎：既設再使用，他付属品共	1	3	200	3.7	電源繋ぎ変え：本工事に含む
P-4	温水ポンプ（南系統）	1F機械室	床置型（片吸込渦巻） 80φ×430L/min×22m，基礎：既設再使用，他付属品共	1	3	200	3.7	電源繋ぎ変え：本工事に含む
P-5	ギアポンプ（発電機用）	1F機械室	床置型（歯車，電動機直結形） 20φ× 20L/min×3kg/cm2，基礎：既設再使用，他付属品共	1	3	200	0.4	電源繋ぎ変え：本工事に含む
P-6	温水ポンプ（空調機用）	1F機械室	床置型（片吸込渦巻） 50φ×340L/min×12m，基礎：既設再使用，他付属品共	1	3	200	1.5	電源繋ぎ変え：本工事に含む
PFU-1	消火栓ポンプ	B1F消火ポンプ室	ユニット形 50φ× 300L/min × 70m 制御盤（進相コンデンサー，消火水槽満減水警報，充水タンク満減水警報，起動リレースペース他） GV50，CV50，FJ50（SUS製）付属品，充水タンク：100L ポンプ性能試験装置，基礎：既設再使用，他付属品共	1	3	200	11.0	電源繋ぎ変え（容量変更）：本工事に含む スターデルタ起動



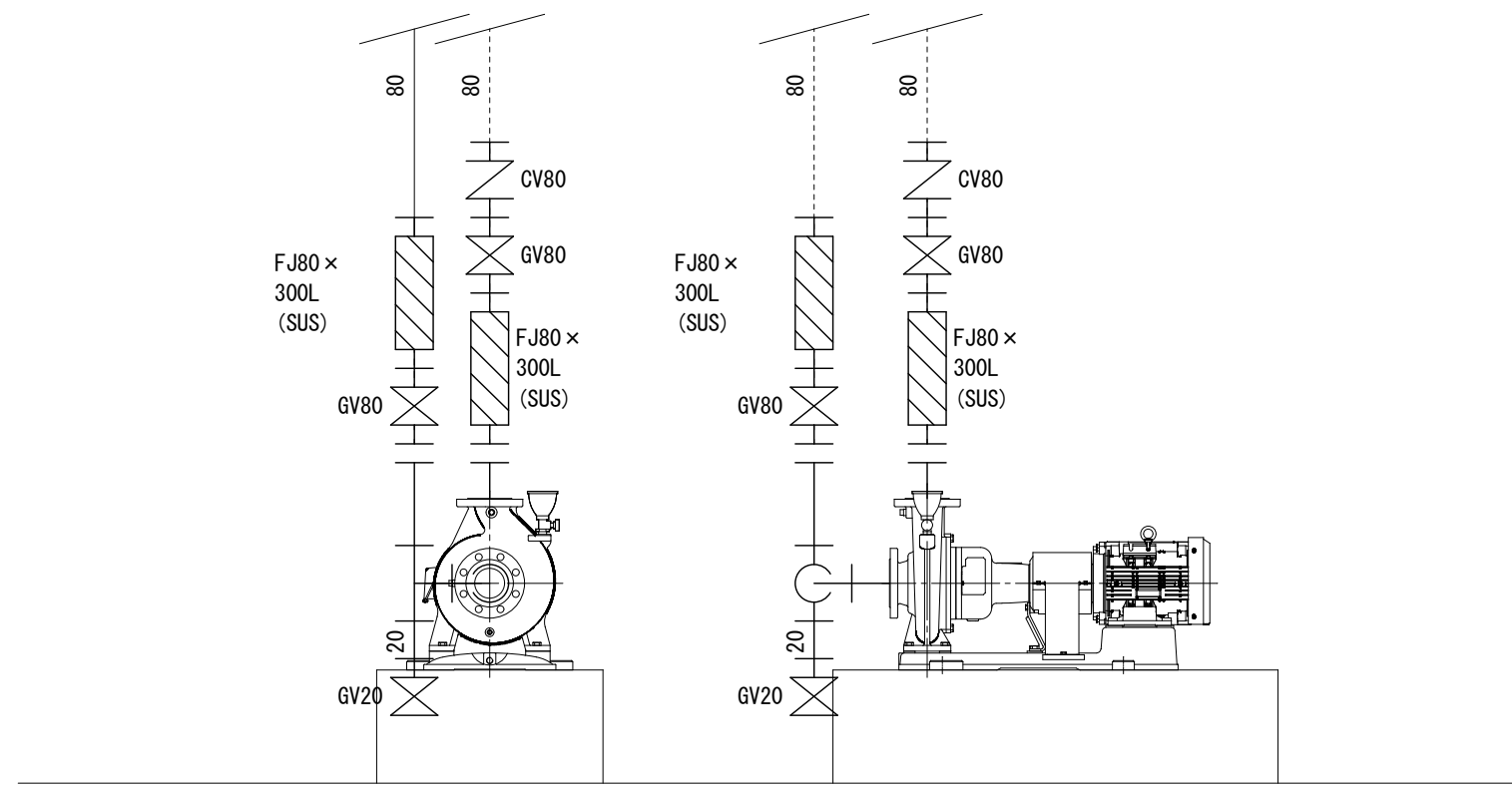
※注記
1) 消火栓ポンプ更新期間中の代替え消火設備
蓄圧式粉末ABC消火器10型（×7箇所）を屋内消火栓前に設置すること。

1階詳細平面図 [改修後] S=1:100



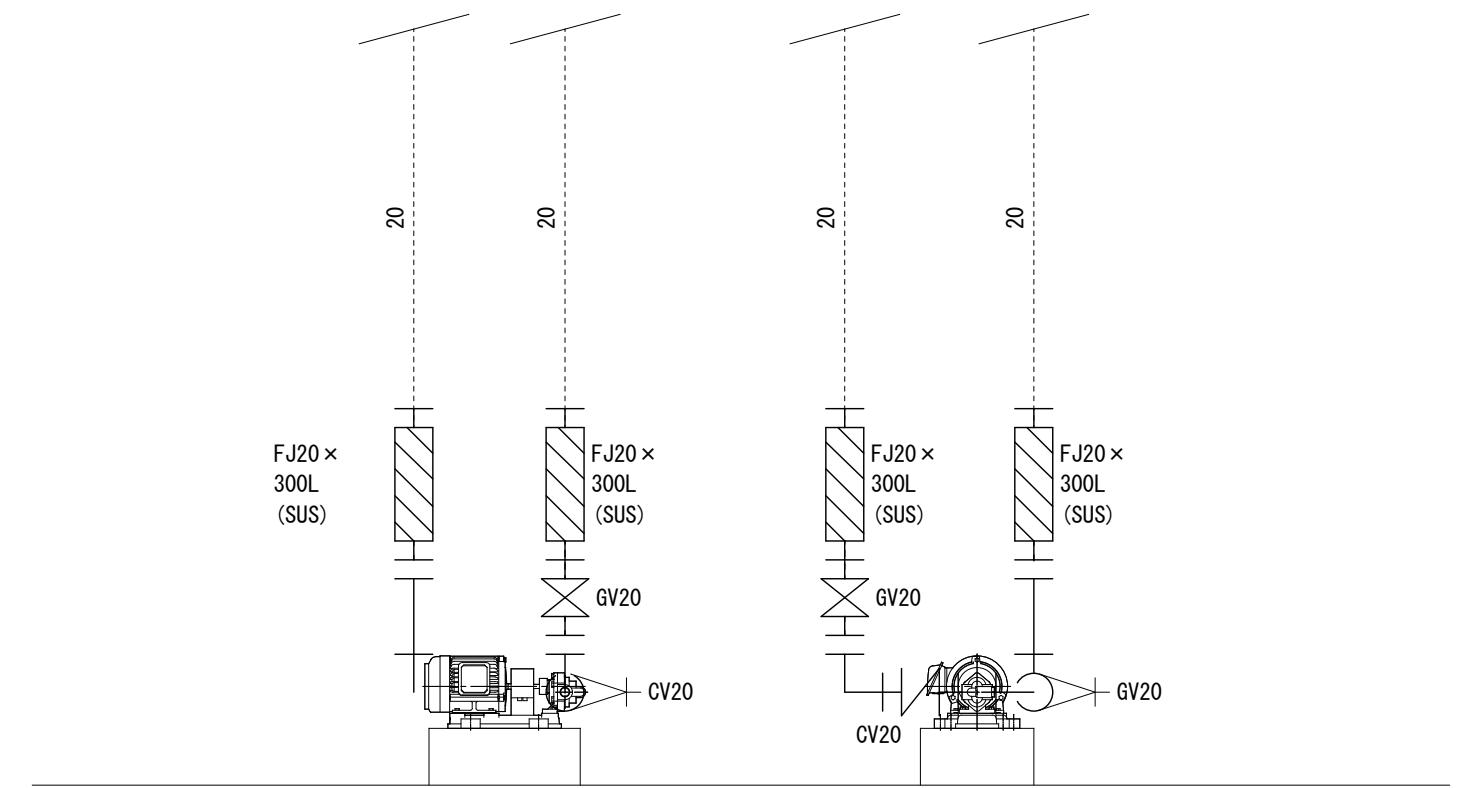
P-6要領図[改修後] (参考)

S=1:20



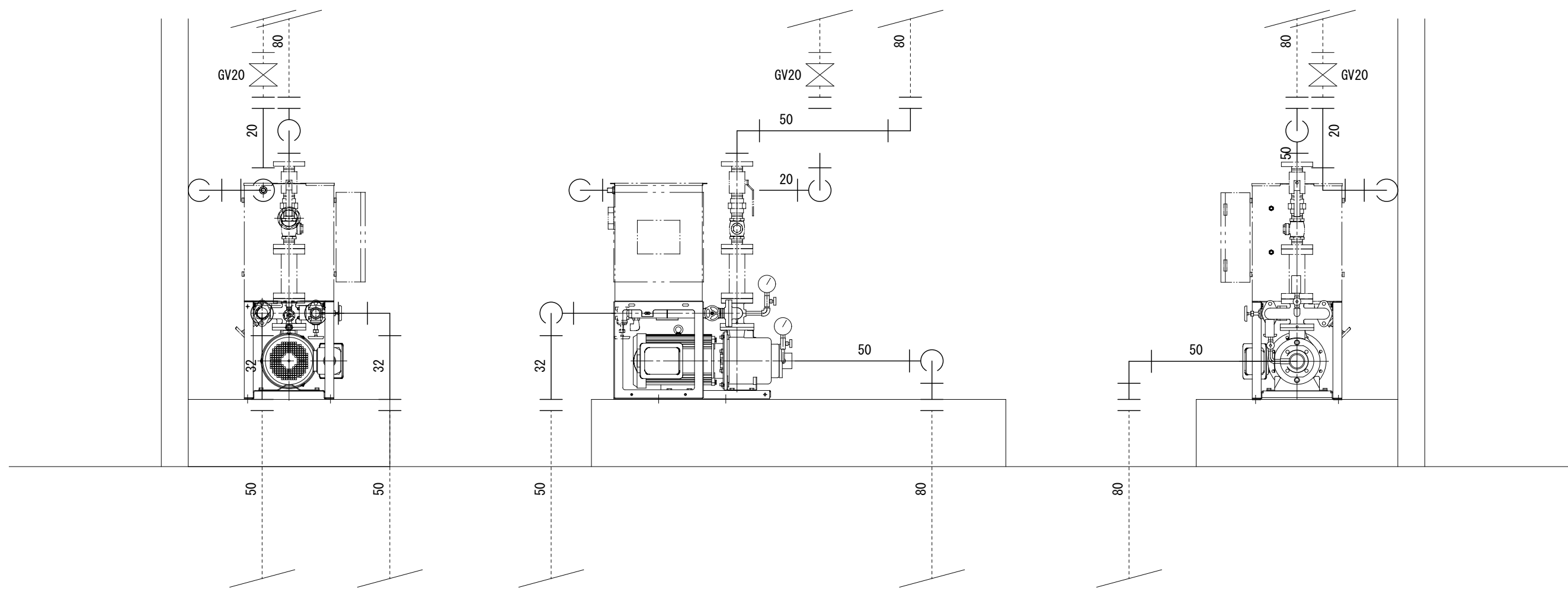
P-3・4要領図[改修後] (参考)

S=1:20



P-2・5要領図[改修後] (参考)

S=1:20

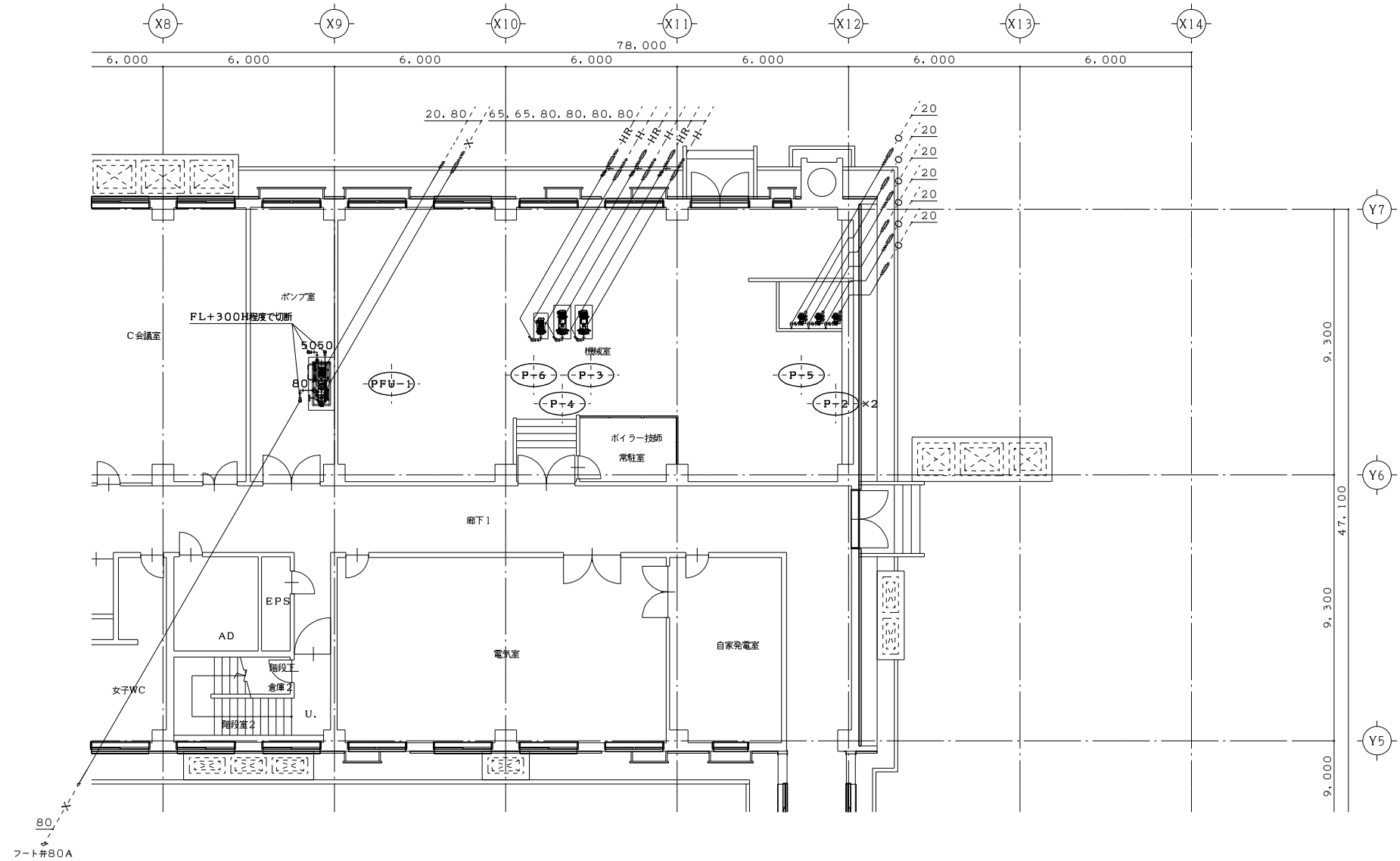


P F U - 1 要領図[改修後] (参考)

S=1:20

機器表 [撤去]

記号	機器名称	設置場所	機器仕様	数	電気特性			備考
					φ	V	kW	
P-2	ギアポンプ（暖房用）	1F機械室	床置型（歯車，電動機直結形） 20φ× 20L/min×3kg/cm2，基礎：既設再使用，他付属品共	2	3	200	0.4	電源切離し：本工事に含む 外形寸法：420L×195W×200H，重量：15kg
P-3	温水ポンプ（北系統）	1F機械室	床置型（片吸込渦巻） 80φ×530L/min×22m，基礎：既設再使用，他付属品共	1	3	200	3.7	電源切離し：本工事に含む 外形寸法：800L×310W×350H，重量：90kg
P-4	温水ポンプ（南系統）	1F機械室	床置型（片吸込渦巻） 80φ×430L/min×22m，基礎：既設再使用，他付属品共	1	3	200	3.7	電源切離し：本工事に含む 外形寸法：800L×310W×350H，重量：90kg
P-5	ギアポンプ（発電機用）	1F機械室	床置型（歯車，電動機直結形） 20φ× 20L/min×3kg/cm2，基礎：既設再使用，他付属品共	1	3	200	0.4	電源切離し：本工事に含む 外形寸法：420L×195W×200H，重量：15kg
P-6	温水ポンプ（空調機用）	1F機械室	床置型（片吸込渦巻） 50φ×340L/min×12m，基礎：既設再使用，他付属品共	1	3	200	1.5	電源切離し：本工事に含む 外形寸法：790L×310W×380H，重量：101kg
PFU-1	消火栓ポンプ	B1F消火ポンプ室	ユニット形 80φ × 600L/min × 70m 制御盤（進相コンデンサー，消火水槽満減水警報，充水タンク満減水警報，起動リレースペース他） GV80，CV80，FJ80（SUS製）付属品，充水タンク：100L ポンプ性能試験装置，基礎：既設再使用，他付属品共	1	3	200	15.0	電源切離し：本工事に含む 外形寸法：1555L×410W×495H，重量：380kg



1階詳細平面図 [撤去] S=1:100